

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 株式会社 イクヨ
 コード番号 7273 URL <http://www.ikuyo194.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(氏名) 林 泰紀
 (氏名) 上田 祐嗣

TEL 046-285-2046

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	12,597	△17.8	△66	—	△239	—	△265	—
20年3月期第3四半期	15,319	8.5	422	—	219	—	152	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△17.28	—
20年3月期第3四半期	9.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	12,735	—	1,778	—	14.0	—	115.89	
20年3月期	13,629	—	2,157	—	15.8	—	140.60	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 1,778百万円 20年3月期 2,157百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,640	△18.7	36	△93.4	△212	—	△267	—	△17.41

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 株式会社イクヨ技術開発研究所) 除外 1社(社名 株式会社イクヨトレーディング)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 15,385,000株 20年3月期 15,385,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 40,884株 20年3月期 39,174株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 15,344,861株 20年3月期第3四半期 15,346,641株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。従いまして、実際の業績等は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、米国の不動産不況に端を発した金融市場の混乱が11月以降の実体経済の急激な落ち込みを引き起こし、国内外の製造業にとっても極めて厳しい状況になってまいりました。

当社グループが属する自動車部品業界においても、自動車メーカー各社の大幅減産の影響を受け、乗用車向け部品を中心に第2四半期と比べ売上高が急減したため、非正規従業員の削減、顧客協力を得た生産ラインの集約、物流費の削減など、緊急対策に着手しております。また、米国グループ会社においても、自動車販売の急速な落ち込みに対応した生産要員の大幅な削減を行う一方で、幅広い顧客層からの受注活動を進めております。こうした激変する景況のもとで、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高12,597百万円（前年同期比17.8%減少）、営業損失66百万円、経常損失239百万円、四半期純損失265百万円となりました。

当社グループにおいては、売上高が急落した市況がしばらくの間続くことを想定し、総人員及び総コストの抜本的削減を迅速に実現し、経営悪化に歯止めをかけるよう全社一丸となって取り組んでおります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は12,735百万円となり、前年度末に比べ893百万円減少いたしました。流動資産は4,593百万円となり、229百万円減少いたしました。主要因は現金及び預金の増加（508百万円）、受取手形及び売掛金の減少（545百万円）、その他の減少（204百万円）等です。固定資産は8,142百万円となり664百万円減少いたしました。主要因は有形固定資産の減少もあって、新規取得よりも減価償却費が上回り485百万円の減少となったことです。

当第3四半期末の負債合計は10,957百万円となり、前年度末に比べ514百万円減少いたしました。流動負債は4,691百万円となり、679百万円減少いたしました。主要因は支払手形及び買掛金の減少（449百万円）、短期借入金の減少（183百万円）等です。固定負債は6,266百万円となり、165百万円増加いたしました。主要因は当連結会計年度から新リース会計の早期適用に伴い、長期リース債務（256百万円）を新たに計上したことによる増加です。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期については、国内自動車メーカー向けの売上の低下の影響で業績が悪化しておりますが、第4四半期に向けて総人員、総コストの削減対策に取り組み途上であり、現段階では平成20年11月7日発表の業績予想の修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期会計期間では、下記の通り連結子会社の異動がございます。

1. 吸収合併による連結子会社の消滅

平成20年8月29日の取締役会決議を受けて、当社の連結子会社である株式会社イクヨトレーディングを平成20年10月1日付で吸収合併いたしました。

2. 子会社設立

平成20年9月26日の取締役会決議を受けて、当社の連結子会社として株式会社イクヨ技術開発研究所を平成20年10月1日付で設立いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

棚卸資産の評価方法は、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎とした合理的な方法により算定しております。

原価差異の配賦について、原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を簡便的な方法により計算しています。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
2. 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。
3. たな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。
4. 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取り扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月18日)を適用し、連結上必要な修正を行っております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,227,000	718,153
受取手形及び売掛金	2,361,415	2,906,816
商品及び製品	191,486	192,344
仕掛品	176,440	180,803
原材料及び貯蔵品	371,994	354,939
その他	265,171	469,567
流動資産合計	4,593,510	4,822,625
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,821,446	5,901,340
減価償却累計額	△3,742,003	△3,670,544
建物(純額)	2,079,443	2,230,796
工具、器具及び備品	20,268,885	19,958,887
減価償却累計額	△18,368,101	△17,553,205
工具、器具及び備品(純額)	1,900,784	2,405,682
土地	2,008,898	2,010,894
その他	6,296,077	5,985,945
減価償却累計額	△4,711,295	△4,574,390
その他(純額)	1,584,781	1,411,555
有形固定資産合計	7,573,907	8,058,928
無形固定資産	23,584	23,969
投資その他の資産	544,630	723,522
固定資産合計	8,142,123	8,806,420
資産合計	12,735,633	13,629,046
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,492,975	2,942,951
短期借入金	850,996	1,034,734
1年内返済予定の長期借入金	429,470	491,547
未払法人税等	12,308	26,851
賞与引当金	19,268	98,858
その他	886,043	775,384
流動負債合計	4,691,063	5,370,328
固定負債		
社債	80,000	90,000
長期借入金	5,020,306	5,028,779
退職給付引当金	795,853	749,004
その他	370,124	233,252
固定負債合計	6,266,285	6,101,037
負債合計	10,957,348	11,471,365

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,298,010	2,298,010
資本剰余金	2,323,426	2,323,426
利益剰余金	△2,826,752	△2,579,327
自己株式	△8,710	△8,433
株主資本合計	1,785,973	2,033,675
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,855	126,547
為替換算調整勘定	△42,544	△2,541
評価・換算差額等合計	△7,688	124,005
純資産合計	1,778,285	2,157,681
負債純資産合計	12,735,633	13,629,046

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	12,597,006
売上原価	11,286,498
売上総利益	1,310,508
販売費及び一般管理費	1,377,105
営業損失(△)	△66,597
営業外収益	
受取利息	8,604
受取配当金	8,872
金型精算差益	7,012
為替差益	8,400
その他	21,550
営業外収益合計	54,440
営業外費用	
支払利息	209,020
その他	18,793
営業外費用合計	227,813
経常損失(△)	△239,969
特別利益	
固定資産売却益	6,837
投資有価証券売却益	6,216
特別利益合計	13,053
特別損失	
固定資産売却損	3,101
固定資産除却損	16,346
その他	1,463
特別損失合計	20,911
税金等調整前四半期純損失(△)	△247,827
法人税、住民税及び事業税	16,160
法人税等調整額	1,111
法人税等合計	17,272
四半期純損失(△)	△265,100

(第3四半期連結会計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	3,598,896
売上原価	3,280,951
売上総利益	317,945
販売費及び一般管理費	403,314
営業損失(△)	△85,368
営業外収益	
受取利息	4,751
受取配当金	2,640
金型精算差益	592
その他	8,824
営業外収益合計	16,809
営業外費用	
支払利息	67,484
その他	6,644
営業外費用合計	74,129
経常損失(△)	△142,688
特別利益	
固定資産売却益	57
投資有価証券売却益	6,216
特別利益合計	6,273
特別損失	
固定資産売却損	3,101
固定資産除却損	807
その他	132
特別損失合計	4,040
税金等調整前四半期純損失(△)	△140,455
法人税、住民税及び事業税	3,967
法人税等調整額	524
法人税等合計	4,491
四半期純損失(△)	△144,947

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

自動車関連事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,953,537	1,643,469	12,597,006	—	12,597,006
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,953,537	1,643,469	12,597,006	—	12,597,006
営業費用	11,003,871	1,659,732	12,663,603	—	12,663,603
営業利益	△50,334	△16,263	△66,597	—	△66,597

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	米国	計
I 海外売上高(百万円)	1,643,469	1,643,469
II 連結売上高(百万円)	—	12,597,006
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.0	13.0

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

区分	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	
	金額(百万円)	百分比 (%)
I 売上高	15,319	100.0
II 売上原価	13,306	86.9
売上総利益	2,013	13.1
III 販売費及び一般管理費	1,590	10.4
営業利益	422	2.7
IV 営業外収益	92	0.6
V 営業外費用	295	1.9
経常利益	219	1.4
VI 特別利益	0	0.0
VII 特別損失	95	0.6
税金等調整前四半期純利益	124	0.8
法人税、住民税及び事業税	△8	△0.1
法人税等調整額	△19	△0.1
四半期純利益	152	1.0